

Partner

[パートナー]

Vol.09

2023.APR

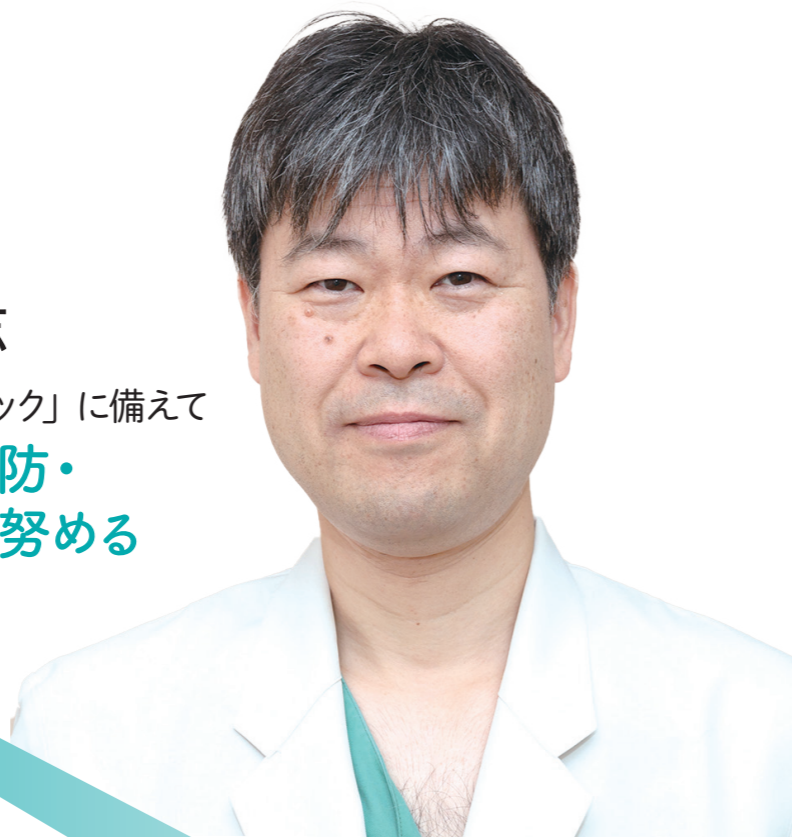
— 各診療科の医師が専門分野を伝える —

・循環器科部長・

江角 仁志

「心不全パンデミック」に備えて

心不全の予防・
早期発見に努める



・放射線科部長・

森永 圭吾

最新医療機器を用いた

各種画像診断で地域医療に貢献



紹介患者様の受診方法について

小山記念病院では、地域の医療機関との連携を充実するために地域医療連携室を設置しています。地域医療連携室では、他の医療機関からの紹介患者様の対応、または患者様のお住いの近隣の医療機関への逆紹介を行っています。

当院は、外来患者様が多く、待ち時間が長くなるため、紹介状持参患者様については、特に事前予約をお勧めしています。

医療機関より、下記にご連絡いただければ、
地域医療連携室にて事前予約をお取りします。

「受診予約申込書」と「診療情報提供書」(様式は問いません)を
事前にFAXをお願いいたします。

《地域医療連携室直通 医療機関専用ダイヤル》

TEL.0299-85-1133 FAX.0299-88-2211

予約なしで直接ご来院された際は、状況により当日診察をお受けできず、
翌日以降のご予約をお取りさせていただく場合があります。

紹介状持参患者様 予約取得フロー

医療機関より地域医療連携室直通ダイヤルに、連絡をお願いします。

受付時間	月曜日～金曜日	9:00～16:00
	土曜日	9:00～11:00

TEL.0299-85-1133 (地域医療連携室直通)

受診予約申込書と紹介状をFAXで送信してください。

FAX.0299-88-2211 (地域医療連携室直通)

※FAX受信は24時間受付可能ですが、受付時間外の場合、予約取得は翌営業日の返信となります。

・折り返し地域医療連携室より紹介元医療機関へご連絡をいたします。
・予約を取得し診療予約票をFAXにて送信します。
(できる限り15分以内にご連絡します)

※診療科によっては、医師の確認が必要なため時間がかかる場合があります。

予約日に、診察予約票と紹介状原本をご持参いただき、
11番「紹介状窓口」にご来院していただきますよう、
ご案内をお願いいたします。

緊急の場合は、下記の医療機関専用ダイヤルへご連絡ください。

- ・脳神経外科ホットライン 080-8815-5322 (24時間対応)
 - ・循環器科ホットライン 080-1078-6668 (24時間対応)
 - ・整形外科ホットライン 080-9159-6089 (月～土/8:00～20:00迄) 日・祝を除く
 - ・放射線科 0299-85-1173 (画像検査科直通)※
 - ・上記以外の診療科 0299-85-1133 (地域医療連携室直通)※
- ※月～金/9:00～16:00、土/9:00～11:00 日・祝を除く

各科緊急連絡先





・放射線科部長・
森永 圭吾

日本医学放射線学会放射線診断専門医
日本核医学会 PET 核医学認定医

ピックアップドクター

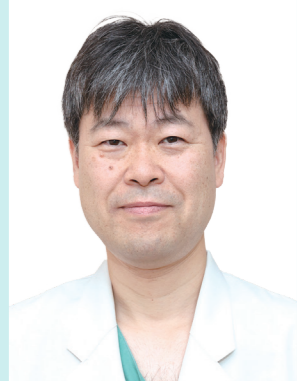
Pick up Dr.



各診療科の医師が専門分野を伝える

・循環器科部長・
江角 仁志

日本循環器学会循環器専門医
日本内科学会総合内科専門医
日本心血管インターベンション学会認定医



「心不全パンドミック」に備えて心不全の予防・早期発見に努める

心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です。

心不全の罹患率は高齢になるほど高くなることが知られており、高齢者の増加に伴い、心不全患者の爆発的な広がりによる「心不全パンドミック」に備えておく必要があります。

心不全の症状を緩和し

原因となる病気の治療を行う

多くの心不全治療は、根本の原因の病気を治療することではありませんが、心不全症状を改善、落ち着かせる薬はあります。

体内の余分な水分を取り除く「利尿剤」や、心臓の働きを手助けする「ジギタリス剤」、心臓にかかる負荷を軽減する「血管拡張剤」、心臓に障害を与えやすい神経やホルモンの作用を抑制する「β遮断剤」「ACE阻害薬・アンギオテンシンII受容体拮抗薬」がありますが、内服したからと

いって「治った」というわけではありません。

当院では、原因の病気である不整脈や狭心症・心筋梗塞への検査・治療を行っています。

不整脈では、電気生理学的検査を行い、必要に応じてペースメーカーの植え込みやカテーテルアブレーション治療を行います。狭心症や心筋梗塞では、冠動脈造影検査を行い、必要があればステントを中心としたカテーテル治療を行っています。

心不全の診断には

検査による総合判断が必須

心不全は原因である病気にならないよう注意する必要があります。高血圧や糖尿病、脂質異常症、動脈硬化などに気を付けることが大切です。

また、心不全は早期発見も大切であり、発見後すぐに治療を開始すれば、進行をできるだけ抑えることができます。

自覚症状に関しては、上記症状を見逃さないことに加えて、浮腫^{むくみ}とも体重の増加も起こることがあります。週に2〜3kgの増加も稀ではありませんので日々の体重確認も早期発見につながります。

また、検査は心電図や胸部X線採血、心エコーなどがあります。採血ではBNP(脳性ナトリウム利尿ペプチド)やNT-proBNP(脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント)というホルモンの値が用いられ、心臓に負担がかかった際に心室から分泌されます。正常値は、BNPは18.4pg/mL以下、NT-proBNPは125pg/mL以下です。BNPは肥満や腎機能などによって値が影響を受けるため、高いからといって必ずしも心不全とはいえませんので検査の総合判断が必須となります。

「心不全パンドミック」が起きる前に、今のうちから心不全の芽を摘み取ることが重要と考えていますので、ご協力の程よろしく願っています。

当院放射線科は、医療画像関連全般における地域貢献を目指しています。

画像医療の基地として

幅広く活用してほしい

他診療科における地域医療連携のようない直接的な患者様の紹介とは異なりますが、近隣の医療機関様からのCT、MRI、骨塩定量検査などの依頼に、なるべく迅速に対処できるようにシステムを整えています。

医療機器の共同利用の概念を超え、各種画像検査の適応、撮像法の助言、追加検査の提案なども含め、身近な画像医療の基地として認識、活用いただけたらと考えています。

偶発所見の重視

依頼いただいた画像検査の主目的における所見記載はもちろんのこと、撮像内の他臓器における偶発的な病変の拾い上げも重視し、読影を

行っています。

関連する合併症評価のみならず、検査目的に直接関連しないがフォローアップが望まれる病変など、適宜その旨を記載し、今後の診療に役立てていただける様に努めます。

IVR (Interventional Radiology) について

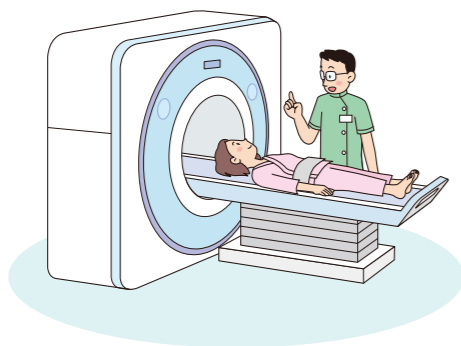
侵襲的治療、画像下治療などと訳されますが、X線透視やCTなどの画像診断機器やノウハウを応用した検査・治療のことです。大きくくりでは放射線科の範疇に入ります。経皮、経動脈的にカテーテルを用いた肝臓がんの塞栓術などが知られています。出血の塞栓など全身種々の臓器にわたる手技があり、CVポート留置など他科医師によっても多く施されているIVRもあります。

当院放射線科は外来、病床を有しないために直接的なIVRの依頼の流れは現在ありませんが、他科を経

て間接的にお手伝いをさせていただきます。

・ご依頼の際のお願い
より安全な検査の遂行、より確かな画像診断の提供にあたり、検査目的や患者様の情報を、できるかぎり広く、詳しくお伝えいただけると幸いです。

今後画像診断を介して、より一層の地域医療貢献をしてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。



最新医療機器を用いた各種画像診断で地域医療に貢献